

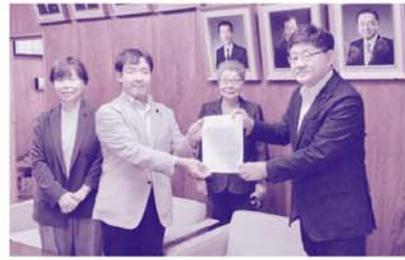


陳情について討論しました(10月3日)  
討論の内容は日本共産党岡山県議団のホームページをご覧ください。

**陳情の採決結果(主なもの)**

○:採択、×:不採択、△:継続審査

請願・陳情	共産	自民	民進	公明	無所属	結果
「ジェノサイド条約」の批准を政府に求めること	○	×	○	○	×	×
知事・議員・職員間でのハラスメント防止条例の制定を	○	×	○	×	×	×
旧姓の通称使用の拡大(選択的夫婦別姓の障壁に)	×	○	×	×	○	○
議案、請願・陳情に対する議員の賛否を公表すること	○	×	○	○	×	×



議長に要望

議員の賛否公表

ハラスメント防止

9月議会で陳情は「不採択」にされましたが、県民に開かれた民主的な議会にするために不可欠な内容です。会派を超えて実りある議論を促してほしいと、議長に要望書を提出しました。

生活保護の大幅な削減(2013年8月から18年まで実施)は違憲として全国で国に中止を求めた「いのちのとりで裁判」。最高裁は今年6月、「削減は違法」との判決を出しました。岡山訴訟の原告・弁護団とともに、すみやかな被害回復を国に求めるよう申し入れました。



生活保護削減被害者へ補償を

「補償金支給の法律」ができましたが、被害者からの申請が進んでいません。障害者団体の方々とともに、被害者の尊厳と名誉回復のために、県としても情報を届け、補償につながるよう求めました。



優生保護法(1948年~96年)によって不妊手術を強制された被害者らが国に損害賠償を求めた裁判は、昨年7月、最高裁が「憲法違反」と判決を出しました。

裁判勝利を受けて...

能登半島地震に関連して、今年度の予算要求で避難所のトイレの充実を求めています。このほどJFEスタジアム南側に移動式トイレとして設置されることになりました。トイレは8基。スタジアムでの試合やイベント時にも使用し、災害発生時には四百回分溜めるタンクとともに避難所に移動するのとです。



移動式トイレ設置

予算要求実現!

岡山県の現状と日本共産党岡山県議団が提案する「2030プラン」を紹介しました。



温暖化・気候危機打開を

全国で声あげよう...

森脇ひさきの日々の活動はブログ、SNSでご覧ください。ご意見・ご要望もおよせください。



岡山市北区内山下2-4-6  
岡山県議会内  
moriwaki.hisaki@gmail.com

電話: 086 (226) 7412  
FAX: 086 (271) 2187

# お元気ですか

森脇ひさきライン公式  
友だち登録をお願いします



日本共産党  
県議会議員

森脇ひさき ニュース

2025年11月  
No.V-13 (通算第118号)

## 多文化共生社会の推進を

9月  
議会

排外主義でなく  
共生に向けた相互理解こそ

参議院選挙では、虚偽の情報を振りまき、外国人を敵視する排外主義が問題になり、9月議会の質問でとりあげました。

外国人優遇の実態は…

【部長答弁】 (全庁的に調査した結果) 外国人が優遇されている制度はない。

排外主義に対する認識…

【知事答弁】 事実に基づかない情報が拡散されるなど、外国人に対する理解不足から生じる偏見等の問題は依然として存在しており、日本人と外国人の双方が、共生に向けた相互理解の増進を図ることが重要。

【質問】 参院選後、青森県で開かれた全国知事会議で排外主義の問題が議論されています。どのような内容だったか?

【知事答弁】 参院選で事実に基づいてない議論が多々みられ

たこと、多くの外国人が地域で頑張ってくださっているのに現実を知らない議論だったことに驚いているし、危惧していることなどが全体の雰囲気だった。

危険な議論…

これ以上広がってはいけない

【質問】 社会の問題や生きづらさの問題を外国人のせいにするのは恐ろしい。排外主義のなかで民族の対立、戦争、ジェノサイドまで危険が起きている。(知事会議で採択された「青森宣言」にあるように多文化共生こそ必要で、排外主義はこれ以上広がってはいけないと思うがどうか?。

【知事答弁】 まったくその通りだ。きちんと機能する社会をつくり広げ、国際社会を作っていく知恵と工夫、努力が必要だ。

被爆80年

原水爆禁止国際会議に参加

国際会議には、核兵器禁止条約の制定に尽力されたオーストリア、キューバ、ベトナム、メキシコの政府代表のほか、アメリカ、フランス、韓国など15か国から222名(46団体、政府・国際機関から6名、国会議員・欧州議会議員4名)が参加していました。

昨年ノーベル平和賞を受賞した被爆協の代表、広島・長崎の被爆者、韓国人の被爆者、マーシャル諸島のアメリカの核実験による被爆者らが発言。被爆の実相を語り上げることが核兵器廃絶の力になることが強調されました。アメリカ、イギリス、フランス、韓国、日本の平和団体・活動家から、各国でのたたかいかも紹介されました。



世界の市民運動の連帯で核兵器禁止条約を成立させました。日本では「核共有」など逆流も起こっています。が、ねばり強い運動こそ必要と痛感しました。